

有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	音楽・美術
科目基礎情報					
科目番号	0008	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	(音楽) MOUSA 1 : 教育芸術者 高校生のための音楽研究ノート (美術) 高校生の美術 : 日本文教出版				
担当教員	三宅 かずみ, 田上 莉奈				
到達目標					
1. 美術の創造活動を通して、表現と鑑賞の能力を伸ばすことができる。 2. 主体的に自己感情や感動を色や形で表現できること。 3. 世界の音楽についての知識と、日本の各時代における音楽の知識を共に理解できる。 4. 音程・拍子・音階といった基礎的な音楽要素について説明できる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	美術の創作活動を通して審美眼を養い、美しいものを直感的にも論理的にも評価できる	美術の創作活動を通して審美眼を養い、美しいものを直感的に評価できる	美術の創作活動に真剣に取り組めず、美しいものを評価できない		
評価項目2	創作活動に主体的に取り組んで、自分の感情や感動を能動的に表現できる	創作活動にまじめに取り組んで、自分の感情や感動を表現できる	創作活動にまじめに取り組めず、自分の感情や感動を形にして表現できない		
評価項目3	世界の音楽と日本の音楽に関する知識を学び、両者の歴史や背景について説明できる	世界の音楽と日本の音楽に関する基礎的な知識を学び、簡単な説明ができる	世界の音楽と日本の音楽に関する基礎的な知識について、簡単な説明もできない		
評価項目4	音程・拍子・音階といった音楽要素について実演を交えて説明ができる	音程・拍子・音階といった基礎的な音楽要素について簡単な説明ができる	音程・拍子・音階といった基礎的な音楽要素について簡単な説明もできない		
学科の到達目標項目との関係					
学習教育到達目標 A-1					
教育方法等					
概要	美術の主題は「デザインセンストレーニング (感性トレーニング)」である。発想から展開、展開から構想へ、そして作品化、そしてまた発想へ、といったセンストレーニングのサイクルを授業では繰り返して行い、表現力や創造力を高め、創造活動のからくりを知り、ものの見方、とらえ方を学んでいく。 音楽の授業では、教科書と共にクラシック、ミュージカル、ポピュラー、民族音楽等を取り入れ、音楽のジャンルを問わずに素晴らしい芸術としての音楽を見分けて、楽しみ、それにより豊かな人格を育てることを目的とする。				
授業の進め方・方法	美術の授業内容は実習を主体とし、前半は点、線、平面について学び、後半は立体について学ぶ。 音楽の授業内容は講義と、歌の発表による2部構成となる。				
注意点	美術の評価は「発表」（課題制作計画の立案から制作完了まで）と「ポートフォリオ」（ノート、アイデアスケッチなどの提出物）を組み合わせて行う。 音楽の評価は「試験」と「その他」（歌のテスト）を組み合わせて行う。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	平面作品の鑑賞	代表的な平面作品を鑑賞し、その独自性や制作背景、技法について理解できる。	
		2週	平面を中心としたデザインセンストレーニング	平面作品を制作する際に、教員やクラスメートと相談しながら構想を練ることができる。	
		3週	模写演習 1	いくつかの作品を参考にしながら、作品の模写に取り組むことができる。	
		4週	模写演習 2	いくつかの作品を参考にしながら、作品の模写を完成させることができる。	
		5週	ポスターの制作 1	模写演習作品を使用して、ポスターの制作に取り組むことができる。	
		6週	ポスターの制作 2	模写演習作品を使用して、ポスターの制作に取り組むことができる。	
		7週	ポスターの制作 3	模写演習作品を使用して、ポスターの制作を完成させることができる。	
		8週	学生の作品評価	クラスメートの作品を鑑賞し、適切な評価をすることができる。	
	2ndQ	9週	立体作品の鑑賞	代表的な立体作品を鑑賞し、その独自性や制作背景、技法について理解できる。	
		10週	立体を中心としたデザインセンストレーニング	立体作品を制作する際に、教員やクラスメートと相談しながら構想を練ることができる。	
		11週	針金による立体構成 1	いくつかの作品を参考にしながら、針金による立体の骨組み作りに取り組むことができる。	
		12週	針金による立体構成 2	いくつかの作品を参考にしながら、針金による立体の骨組み作りを完成させることができる。	
		13週	パースペクティブ制作 1	針金立体構成作品を使用して、一転透視図の制作に取り組むことができる。	
		14週	パースペクティブ制作 2	針金立体構成作品を使用して、一転透視図の制作に取り組むことができる。	
		15週	パースペクティブ制作 3	針金立体構成作品を使用して、一転透視図の制作を完成させることができる。	
		16週	前期末試験		

後期	3rdQ	1週	西洋音楽史 1	ギリシア・中世・ルネサンス時代の音楽を、歴史・地理を踏まえつつ鑑賞し、その音楽背景と特徴について理解できる。
		2週	西洋音楽史 2	バロック時代・古典派・ロマン派の音楽を、歴史・地理を踏まえつつ鑑賞し、その音楽背景と特徴について理解できる。
		3週	西洋音楽史 3	20世紀の音楽を、歴史・地理を踏まえつつ鑑賞し、その音楽背景と特徴について理解できる。
		4週	日本音楽史 1	先土器時代から室町時代までの音楽を、歴史を踏まえつつ鑑賞し、その音楽背景と特徴について理解できる。
		5週	日本音楽史 2	江戸時代から現代までの音楽を、歴史を踏まえつつ鑑賞し、その音楽背景と特徴について理解できる。
		6週	譜面と音名	ト音記号とヘ音記号を区別し、鍵盤上の音を音名で答えることができる。
		7週	音程	単音程や複音程などの違いについて説明できる。
		8週	拍子・音価	2・3・4拍子の違いと、単純拍子と複合拍子の違いを説明できる。
	4thQ	9週	音階	それぞれの音符の名前と長さを理解できる。
		10週	楽語	強弱、奏法、発想、速さなどの様々な西洋音楽用語を原語、読み方、意味の面において全て理解できる。
		11週	歌 1	様々な国の歌を、その国の現地語で歌い、発音の違いを感じることができる。
		12週	歌 2	様々な国の歌を、その国の現地語で歌い、発音の違いを感じることができる。
		13週	歌 3	様々な国の歌を、その国の現地語で歌い、発音の違いを感じることができる。
		14週	歌 4	様々な国の歌を、その国の現地語で歌い、発音の違いを感じることができる。
		15週	歌 5	様々な国の歌を、その国の現地語で歌い、発音の違いを感じることができる。
		16週	学年末試験	

#### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
<b>評価割合</b>					
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ その他 合計
総合評価割合	25	35	0	0	15 25 100
基礎的能力	25	0	0	0	15 25 65
専門的能力	0	0	0	0	0 0 0
分野横断的能力	0	35	0	0	0 35 35